

平成28年度 事業報告書

(法人本部事務局)

I 法人本部事業

1 管理運営事業(本部)

(1) 理事会・評議員会

区 分	期 日	場 所	協 議 事 項
理事会	5月26日	ハートピアかごしま	1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度収支決算について 3 評議員の選任について
	1月13日	ハートピアかごしま	1 社会福祉法改正に伴う定款の改正について 2 評議員選任・解任委員会委員の運営細則の制定について 3 評議員選任・解任委員会委員の選任について 4 評議員候補者の選任について 5 評議員選任・解任委員の招集の決定について 6 育児休業等及び介護休業等に関する規程の改正について
	3月23日	ハートピアかごしま	1 平成28年度補正予算書について 2 平成29年度事業計画書について 3 平成29年度資金収支当初予算について 4 定款細則の改正につて 5 経理規程の改正について 6 評議員候補者の選任について 7 施設長の任免について
評議員会	5月26日	ハートピアかごしま	1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度収支決算について 3 理事の選任について
	1月13日	ハートピアかごしま	1 社会福祉法改正に伴う定款の改正について 2 監事の選任について 3 評議員選任・解任委員会委員の運営細則の制定について 4 評議員選任・解任委員会委員の選任について 5 評議員候補者の選任について 6 評議員選任・解任委員の招集の決定について 7 育児休業等及び介護休業等に関する規程の改正について
	3月下旬	ハートピアかごしま	1 平成28年度補正予算書について 2 平成29年度事業計画書について 3 平成29年度資金収支当初予算について 4 定款細則の改正につて 5 経理規程の改正について 6 評議員候補者の選任について 7 理事の選任について

(2) 監事監査

期 日	場 所	監 査 事 項
5月8, 9日	ハートピアかごしま	平成28年度事業実績・決算について

(3) 広報活動事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
広報活動事業	県下の身体障害者及び一般県民を対象に協会の活動状況や障害者福祉に関する各種情報を提供するために広報誌を発行するとともにホームページを適宜更新する。	8月・1月	県内市町村役場・社協・身障協会ほか	広報誌「かんぎ」 通常版 1,700部 点字版56部 録音版24部

(4)障害者作品展示即売会

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
障害者作品展示即売会	「障害者週間」(毎年12月3日～9日)に合わせて、広く県民に障害者福祉についての関心と理解を深めていただくとともに、障害者自らの自立と社会参加の意欲を育てることを目的として、障害者が経験と技能を活かして制作・生産した作品を展示・即売する。	12月4日	ハートピアかごしま	26団体が参加

(5)日身連・九身連事業への参加

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
第61回日本身体障害者福祉大会さよう大会	日本身体障害者団体連合会に所属する全国各都道府県及び政令指定都市の身体障がい者が一堂に会し、平成28年度の活動方針を決定するとともに、今後の障がい者施策について協議し、障がい者の自立と社会参加を積極的に展開、発展させ、その福祉の増進を図ることを目的に開催する。	5月11日～12日	京都市 新・都ホテル、 京都府総合見本市会館	
第10回九州身体障害者グラウンドゴルフ大会	九州各県・政令指定都市の身体障がい者が一堂に会し、競技をとおして機能回復訓練と体力の維持増強を図るとともに相互の親睦と	10月7日	グリーンパーク (北九州市)	
第32回九州身体障害者ゲートボール大会	交流を深め、自立と積極的な社会参加を促進し、社会の理解と認識を深めることを目的に開催する。	熊本地震のため中止		
第47回九州身体障害者福祉大会・ 第24回九州ブロック身体障害者相談員研修会 長崎大会	九州各県・政令指定都市の身体障害者団体が一堂に会し、生活、就労、人権などに関する障害福祉関係諸施策の問題について研究討議するとともに、政策提言、要望活動を通して、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指すこと、並びに同地区の身体障害者相談員が、質の高い相談支援を行っていくために、障害者福祉関係法制や施策について学習し、また、事例発表を通じて相談支援に必要な知識・技術の向上を図ることを目的として開催する。	11月17日～18日	長崎市 長崎ブリックホール	

(6)全国大会・九州大会開催事業への助成

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
全国・九州大会開催助成事業	当協会の正会員の法人や団体が、全国大会や九州大会の当県での開催事務局となる場合にその経費の一部を助成する。			
	《助成対象》 第46回 全国ろうあ者女性集会	10月28日～30日	県民交流センター、鹿児島サンロイヤルホテル	参加者 595名 助成額5万円
	第53回九州視覚障害者グラウンドソフトボール大会	5月7日～8日	鹿児島市ふれあいスポーツランド	参加者 115名 助成額5万円

2 「障害者の明るいくらし」促進事業

	事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
1	オストメイト社会適応訓練事業	腸疾患術後オストメイトが日常生活において、著しい困難を伴うため情報の交換・補装具の取り扱い、排便洗腸法等の学習及び医療相談・福祉相談・体験交流等を通じて研修会・講習会を行い、日常生活と健康維持並びに社会復帰の促進を図る。 広報誌発行 第28回全国大会 若いオストメイト交流会 健康管理研修会 研修・相談会	年2回 6月11日～12日 11月26日 5回 1回	青森市 熊本県 鹿児島市 鹿児島市	本県より2名 本県より1名 70名(看護師・介護士を含む)
2	脊髄損傷者生活訓練事業	脊髄損傷者に対し、医学的知識の研修及び補装具装着訓練等、日常生活動作について訓練を実施し、健康管理の向上を図る。 バリアフリー調査 健康管理研修会 脊髄損傷者相談員研修会	4ヶ所 1月28日 2月25日～26日	肝属郡他 鹿児島市 福岡県	3名 14名 2名
3	リウマチ身体障害者生活訓練事業	リウマチに関する正しい知識を深め、リウマチ対策の確立と推進を図り、福祉の向上に寄与することを目的とする。 「リウマチさんのおしゃべりの部屋」開催 医療講演会、相談会、勉強会 広報誌	月1回 3回 年3回	鹿児島赤十字病院 他2カ所 鹿児島市	計36回 125名 900部
4	腎機能障害者生活訓練事業	腎臓機能障害のため、日常生活に著しく支障をきたしている者に対し、社会復帰のための生活相談、日常生活維持に必要な研修会等を開催し、腎臓病で悩む者の福祉の向上を図り社会参加を促進する。 通常総会 全腎協全国大会 全腎協九州ブロック前期会議	5月22日 5月15日 8月20.21日	鹿児島市 神戸市 長崎県	149名 2名 2名

	事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考	
5	音声機能障害者発声訓練指導者養成事業	疾病等により喉頭を摘出し、音声機能を喪失した者に対し、発声訓練及び日常生活上欠くことのできない予防対策の現地指導を行うとともに、この発声訓練に携わる指導者の養成を図る。 発声訓練 成果発表会 指導者養成研修会 特別講習会	通年 全52回 5月28日 9/14～16 10月15日	鹿大病院他 鹿児島市 福岡市 鹿児島市	延べ773名 30名 4名 25名	
6	身体障害者スポーツ振興・強化事業	競技別県大会の開催、九州大会・全国大会への選手派遣助成を行い、各種身体障害者スポーツの競技力向上を図ると共に、各種レクリエーションを通じて、健康増進、体力維持、社会参加推進を図る。 ○ 競技別県大会開催 水泳大会 アーチェリー大会 視覚障害者卓球大会 ろうあ者ゲートボール・ソフトバレーボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 ゲートボール大会 ボウリング大会 卓球大会 ○ 九州大会派遣 第16回全国障害者スポーツ大会グランドソフトボール競技九州地区予選会 第53回全九州ろうあ者スポーツ大会(ゲートボール、ボウリング、バドミントン、ソフトバレーボール) 第16回全国障害者スポーツ大会車椅子バスケットボール競技九州地区予選会 第22回日本電動車椅子サッカー選手権大会 九州ブロック予選大会 第41回九州身体障害者アーチェリー選手権大会 第37回九州障害者卓球選手権大会 第10回九州身体障害者グラウンドゴルフ大会 第44回九州視覚障害者サウンドテーブルテニス大会 第27回全国ふうせんバレーボール大会 第25回視覚障害者マラソン宮崎大会 第25回全国障がい者ボウリング大会 ○ 全国大会派遣 2016ジャパンパラ陸上競技大会	4月17日 5月8日 7月3日 7月10日 7月13日 8月10日 10月16日 11月6日 5月7・8日 5月21・22日 6月11・12日 6月19日 6月25・26日 6月26日 10月7日 11月5・6日 12月11日 12月11日 2月18・19日 6月4・5日	ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま 鹿児島市 霧島市 霧島市 鹿児島市 ハートピアかごしま 鹿児島県 鹿児島県 佐賀県 北九州市 沖縄県 大分県 北九州市 長崎県 北九州市 宮崎県 福岡市 新潟市	32名 4名 28名 101名 252名 83名 13名 21名 115名 328名 112名 12名 42名 174名 146名 67名 600名 116名 177名 285名	スポーツ指導員 16名 <

	事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
6		第17回全日本グランドソフトボール選手権大会 第22回日本電動車椅子サッカー選手権大会 第36回大分国際車いすマラソン 第37回ジャパンオープンパラ卓球選手権大会 第28回全国車いす駅伝競走大会	9月17・18日 10月22・23日 10月30日 3月11・12日 3月12日	名古屋市 大阪市 大分県 福岡市 京都市	180名 本県7名 300名 本県4名 230名 本県2名 169名 本県2名 151名 本県9名
7	障害者スポーツ指導員養成事業	障害者の特性に応じたスポーツ・レクリエーションの指導者を育成する。 障がい者スポーツ指導員養成講習会 障がい者スポーツ指導員フォローアップ研修会	11月23・26・27日 5月29日	ハートピアかごしま ハートピアかごしま	41名 40名
8	「障害者110番」運営事業	障害者の人権が守られるという観点から、障害者等の権利擁護に係わる相談に対応するため、常設の相談窓口を設置し、また相談内容に応じて専門相談チームを編成し、障害者等に対する諸問題相談に応じる。 障害者の悩み事などの相談 みんなねっとフォーラム2016	通年 3月3日	ハートピアかごしま 東京都	相談件数 484件

3 障害者福祉活動推進事業(障害者社会参加推進センター運営事業)

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
障害者福祉活動推進事業 (障害者社会参加推進センター運営事業)	障害者福祉活動推進員を設置し、社会参加推進協議会を中心に社会参加に関する活動を推進して、障害者の福祉向上を図る。	推進員(職員) 2名分人件費		
	障害者社会参加推進協議会 *社会参加推進センターの活動実績	10月12日	ハートピアかごしま	委員等13名
	・鹿児島西地区安全運転管理協議会事業主研修会(共催) ・障害・障害者スポーツ関連講話等	11月9日 4月～2月 12回	ハートピアかごしま 県内小学校等	80名
	・各種障害者スポーツの指導	4月～12月 18回	鹿児島養護学校	参加者のべ238名
	・上級障がい者スポーツ指導員養成講習会(後援)	8月19～22日 1月19～22日	ハートピアかごしま	受講者34名

4 障害者福祉団体活動費助成事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
障害者福祉団体活動費助成事業	障害者団体の円滑な育成や活動を促進するとともに、障害者の福祉の増進を図る。協会職員人件費の確保地域団体の活動推進	職員5名分他 5月～11月		日置地区他10地区のスポーツ大会等に助成
	全県団体の活動推進	12月		連合会、視覚連、聴障協会身体障害者相談員協議会等の研修会等に助成

5 手話通訳者設置事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
手話通訳者設置事業	手話通訳者を県庁に派遣	4月～3月	県障害福祉課	1名 手話通訳件数779件

6 全国障害者スポーツ大会派遣事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
全国障害者スポーツ大会派遣事業	毎年開催される全国障害者スポーツ大会に、鹿児島県選手団を派遣させる。派遣選手を対象に合同練習を行う			
	県選手団派遣選手合同練習(個人競技)	7月16日	ハートピアかごしま	選手38名、スタッフ42名、選手付添22名
	第16回全国障害者スポーツ大会派遣	10月20日～ 10月25日	岩手県	個人競技選手39名、個人競技役員32名

7 県障害者保健福祉大会

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
県障害者保健福祉大会	県民の理解と啓発を目的として3障害者合同の大会を開催した。	11月16日	鹿児島県民交流センター	参加者 540名

8 情報サポート事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
情報サポート事業	受託点字印刷物を点字製版ボランティアサークル「ぶらいゆ」によって作成する。 点字印刷物作成 かごしま県議会だより(点字版・音声版)の制作配布を受託。 県政かわら版(点字版・音声版)の制作配布を受託。	通年 5月、12月 4月、6月、8月、10月、12月、2月		点字資料、点字名刺等 点字版 各280部制作・配布 音声版 各230本制作・配布 ホームページ掲載用音声ファイル提出 点字版 各60部制作・配布 音声版 各60本制作・配布 ホームページ掲載用音声ファイル提出

9 ITサポートセンター運営事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
障害者ITサポートセンター運営事業	パソコン操作に関する各種相談にITコーディネーターが対応するとともに外出困難な方についてはボランティアや職員が自宅等で相談に応じる。	4月～3月	①ITコーディネーター等による相談(ハートピアかごしま) ②ボランティア等による相談(相談者の自宅)	左記① 31名 計102件 左記② 10名 計18件

障害者自立交流センター 事業

(28年度)

障害者自立交流センター 管理運営事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
自立交流センター 施設の管理	施設の利用許可、利用料徴収等管理業務及び 総合受付業務・プール監視業務・運動療法訓練室 業務等を行う。	・通年		
スポーツボランティア 養成事業	自立交流センターが主催するスポーツ教室等での 支援活動等を行い、障害者スポーツの向上に寄 与するスポーツボランティアの養成及び円滑なボラ ンティア活動の推進を図るための研修等を実施す る。 ・スポーツボランティア養成講座 ・スポーツボランティア研修	1月29日 3月4日	ハートピアかごしま ハートピアかごしま	修了者 11名 参加者 39名
職員等研修	センターの管理・運営に関する職員の資質の向 上を図るため、全国障害者スポーツセンター協議 会への参加及び各種研修会の受講、職員研修会 等を実施する。 ・自立交流センター職員研修(6回) ・全国障害者スポーツセンター協議会 ・障害者スポーツ指導員(初級) ・水泳コーチ研修会(日本体協公認水泳コーチ)	4月5日 他 11月28日～30日 11月23日～27日 10月15日	ハートピアかごしま 群馬県(群馬県庁) ハートピアかごしま 福岡市	参加者 28名 参加者 3名 参加者 2名 参加者 1名
スポーツ大会	スポーツ教室受講修了者等で組織された自主グ ループ活動等を支援するため、各種スポーツ大会 を開催し、障害者スポーツ大会への参加を促進す る。 ・水泳大会 ・バドミントン大会 ・レクスポ大会	平成28年 7月18日 平成29年 2月18日 平成29年 2月5日	ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま	参加者 33名 参加者 119名 参加者 74名
スポーツ教室	年間を通してスポーツ教室を開催し、体力の維持 増進、機能回復を図る。 ・水泳教室(第1期) ・ブライントテニス教室 ・健康体操教室 ・ボッチャ教室 ・バドミントン教室 ・バスケットボール教室 ・水泳教室(第2期) ・はじめてスポーツ教室	5月～ 7月 6月～ 2月 6月～ 1月 6月～ 2月 6月～ 9月 6月～ 1月 9月～11月 10月～ 3月	ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま	50回 受講者延べ 234名 8回 受講者延べ 74名 8回 受講者延べ 67名 8回 受講者延べ 70名 4回 受講者延べ 57名 8回 受講者延べ 146名 40回 受講者延べ 187名 4回 受講者延べ 34名
地域交流教室	当センターで受講が困難な遠隔地の障害者を対 象に、健康づくりと障害者スポーツの振興を図る。 ・鹿屋養護学校 ・牧之原養護学校 ・阿久根市(折多地区) ・南さつま市 ・大島養護学校 ・奄美市身障協 ・中種子養護学校 ・あかつき学園(種子島) ・出水養護学校	7月26日 7月31日 9月18日 11月6日 12月15日 12月15日 1月25日 1月26日 2月27日	鹿屋養護学校グラウンド 牧之原養護学校体育館 折多地区集会施設 いしへホール 大島養護学校体育館 りゅうゆう館 中種子養護学校体育館 あかつき学園多目的ホール 出水養護学校体育館	受講者 19名 受講者 68名 受講者 26名 受講者 123名 受講者 33名 受講者 59名 受講者 39名 受講者 63名 受講者 25名

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
文化教室	年間を通して文化教室を開催し、趣味や娯楽によるコミュニケーションをの場を確保し、生涯学習の一助となる文化的活動を支援する。 ・美文字教室 ・季節の家庭料理教室 ・絵手紙教室 ・カラオケ教室 ・フラワーアレンジメント教室	7月～9月 10月～2月 10月～11月 9月～11月 10月～12月	ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま	6回 受講者延べ 56名 4回 受講者延べ 30名 4回 受講者延べ 43名 6回 受講者延べ 69名 8回 受講者延べ 81名
文化教室 交流カルチャー教室	・かわいい小物作り教室 ・原口裕未式洗浄法で肌活力を取り戻そう ・ビーズでおしゃれ教室 ・楽しいガーデニング教室 ・大人の陶芸教室 ・おいしいコーヒータイム教室 ・干支の小物作り教室 ・和菓子作り教室 ・アロマセラピー教室	6月18日 7月20日 8月20日 9月9日 10月5日 11月28日 12月10日 1月13日 2月3日	ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま	受講者 8名 受講者 12名 受講者 11名 受講者 7名 受講者 10名 受講者 13名 受講者 16名 受講者 16名 受講者 11名
文化教室 親子カルチャー教室	・親子 陶芸教室 ・親子 パン作り教室 ・親子 手芸教室(干支西) ・親子 パレンティンランチ教室	7月31日 8月29日 12月26日 1月9日	ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま	受講者 40名 受講者 15名 受講者 8名 受講者 10名
文化教室 作品展示会	文化教室受講者等が日頃の成果を発表する場(ハートピアの1階廊下に展示)を設け、より一層の社会参加意欲を促進すると共に、健常者とも交流を図る。	12月	ハートピアかごしま	出展者数 28名
情報提供事業	情報を収集し、障害者のスポーツや文化活動等に関する情報を提供し、障害者の社会参加に対する支援を行う。			・年報作成 ・広報誌作成 ・利用カレンダー作成 ・ホームページの活用
自立交流センター 運営協議会	自立交流センターの運営に利用者の意見を反映させ、円滑かつ効果的な運営を図る。(委員 11名)	9月23日	ハートピアかごしま	・障害者団体、教育関係者、ボランティア、事務局等の代表者
障害者週間イベント 「あったか交流 フェスタ」	「障害者週間」に合わせて実施。 「障害者のことをもっと理解してほしい・ハートピアかごしまをもっと知ってほしい・楽しい1日を過ごしてほしい」の趣旨で行った。 今回新たに、多目的ホールにおいて競技用車いすの展示や体験・障害者スポーツ「車いすテニス」・「障害者フライングディスク」体験を行った。 食事コーナーの工夫・キッズ、縁日コーナーを充実するなど来館者に喜んでもらえる会場作りに努めた。 参加者にも好評で大盛況であった。 参加者数 約 1,900名	12月4日	ふれあいステージ 体験コーナー 癒しコーナー キッズ縁日コーナー 展示即売コーナー お楽しみ抽選会	・ジャグリングショー ・ハーモニカ演奏 ・バトンとダンス(エクセルバトン) ・ゆるキャラとあそぼう ・フラダンス(アンズリウム) ・タヒチアンダンス(KPDA) ・東郷さくら(弾き語り) ・コーラス「シャラら」 ・陶芸・押し花アート ・障害者スポーツ体験 ・骨密度チェック ・あんまマッサージ ・ニューススポーツ体験 ・バルンアート体験等 ・新鮮野菜・小物等 ・多数当選

県障害者スポーツ大会開催事業

事業名		第10回鹿児島県障害者スポーツ大会開催事業	
事業の概要		障害者のスポーツの振興を図るとともに、障害者に対する県民の理解と認識を深め、その自立と社会参加の促進に寄与することを目的に、県立鴨池補助競技場、県立サッカー・ラグビー場、ハートピアかごしま、サンライトゾーンを会場に6競技1種目を実施した。	
事業の実施状況	実施方法	第10回鹿児島県障害者スポーツ大会実施要綱に基づき実施	
	参加者数	選手 1,051人 役員等 859人 計 約2,910人 付添等 約1,000人	
	実施時期・種目等	平成28年5月15日(日) 陸上競技：50M走、音響50M走、車椅子50M走、車椅子100M走、100M走、車椅子200M走、200M走、400M走、800M走、車椅子800M走、車椅子1500M走、1500M走、400Mリレー、スラローム、走幅跳、立幅跳、走高跳、砲丸投、ソフトボール投、ビーンバッグ投、ジャベリックスロー 水泳競技：25M自由形、25M背泳ぎ、25M平泳ぎ、25Mバタフライ、50M自由形、50M背泳ぎ、50M平泳ぎ、50Mバタフライ 卓球競技：シングル、サウンドテーブルテニス ボウリング：個人競技 アーチェリー競技：30Mダブルラウンド(リカーブ) フライングディスク競技：アキュラシー、ディスタンス レクリエーション：綱取り、ボールみこし、玉入れ、的倒し	
事業の効果 その他参考事項		大会の開催により、身体障害者、知的障害者がスポーツを通じて、自分自身の体力、健康、残存能力の向上に努めることに関心をもってもらうことができた。また、県民に対しても身体障害者、知的障害者のスポーツに対する一途な姿勢から、障害者に対する正しい理解と認識を得ることができた。更に参加者相互の親睦を深めることができ、本大会の目的を達成することができた。	

Ⅲ 視聴覚障害者情報センター事業

1 鹿児島県視聴覚障害者情報センター管理運営事業

視覚部門	視覚障害者への情報提供施設として、そのニーズに即した情報・図書の収集・製作・貸出、及び点訳奉仕員・音訳奉仕員の養成を行い、利用者に対する正確で速やかな情報・図書の提供に努めた。
聴覚部門	聴覚障害者への情報提供施設として、そのニーズに即した情報収集、字幕入DVD等の制作・貸出を行うと共に、手話通訳者・要約筆記奉仕員の養成・研修を行い、聴覚障害者の生活・文化の向上を図った。

	概 要	実施期間等	場 所	備 考
【視覚部門】				
製 作	視覚障害者への情報提供のひとつとして、点字図書・録音図書を製作した。	通年	情報センター	受入タイトル数 (自館製作) 点字図書 332タイトル(279) 録音(カセット) 49タイトル(46) 音声デジター(CD) 175タイトル(42) 合成音デジター 297(226) (CD) マルチメディアデ 35(0) ジター(CD)
貸 出	点字図書・資料、録音図書・資料の貸出、閲覧を行った。	通年	情報センター	貸出数 点字図書 2,448タイトル 録音(テープ) 5,312タイトル 録音(CD) 11,849タイトル
養 成	点字図書・録音図書の製作に携わる点訳奉仕員・音声訳奉仕員の養成を行った。 ・点訳奉仕員養成講習会(2.5年カリキュラム) ・音声訳奉仕員養成講習会(2年カリキュラム) デジター編集奉仕員養成講習会(29年度「明るいくらし事業」に入れ替え) ・テキストデジター編集講習会	通年 通年 通年	情報センター 情報センター 情報センター	12回 延べ82名 1回 延べ5名 10回 延べ24名 1回 8名
広 報	視覚障害者への情報提供として機関紙を製作、発行した。 ・情報センターだよりの発行 配布先:利用登録者及び奉仕員等	毎月発行		墨字版 4,731部 墨字拡大版 696部 点字版 1,833部 L点字版 36部 テープ版 1,589部 メール版 1,547部 CD版 853部
機器整備	図書製作や講習会等で必要な機器を整備する。 ・字幕制作ソフト高等編集機能オプ/デスクトップパソコン ・3回線音声応答装置 ・モノクロA4レーザービームプリンター			
視覚障害者情報提供システム	「サピエ図書館」を利用し、点字・音声データ及び書誌の登録、相互貸借、複製受入など利用者への情報提供を行った。	通年		サピエ図書館への登録件数 点字データ 362タイトル 録音(テープ) 46タイトル 録音(CD) 40タイトル テキストデジター 238タイトル オンラインリクエスト送信 4,753回
【聴覚部門】				
制 作	聴覚障害者に役立つ情報やイベント等を案内するための字幕や手話入りビデオテープ・DVDを制作した。	通年		自主制作「あいごしま」6本 ライブリ受入数(自館制作) DVD 113タイトル(34タイトル)
貸 出	字幕入りビデオテープ、DVDの貸出・閲覧を行った。	通年	情報センター	貸出数 テープ 152タイトル DVD 1,403タイトル YouTube再生回数 2,116
広 報	情報センターだよりの(聴覚版)を発行した 配布先:利用登録者及び関係団体等	年4回		郵送等 726部 ファックス 465部 メール 93

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
聴覚関係各種事業	・手話奉仕員養成講座(基礎編)	通年	ハートピアかごしま	27回 延べ205名
	・聴覚障害者手話講習会 (手話を学ぼう)	通年	ハートピアかごしま	10回 延べ69名
	・聴覚障害者情報・交流講座	通年	ハートピアかごしま	1回 延べ110名
	・手話通訳者等研修講座 (通訳技術をみがこう)	通年	ハートピアかごしま	10回 延べ58名
	・手話通訳者等研修講座(出張講座)	通年 通年	霧島 いちき串木野 鹿屋	9回 延べ 42名 10回 延べ 33名 4回 延べ 20名
【管理事務 等】	・情報センター運営協議会の開催	1月	ハートピアかごしま	
	・プライベート点訳・音訳対応	通年	情報センター	点訳 延べ66名 音訳 延べ54名
	・夏休み こどもと先生の一日子字教室	7月	ハートピアかごしま	1回 38名
	・夏休み 一日聴覚障害・手話教室(小中学生対象)	8月	ハートピアかごしま	1回 48名
	・夏休み 一日聴覚障害・手話教室(教職員対象)	7月	ハートピアかごしま	1回 22名
	・小中学校の総合的な学習対応	通年	ハートピアかごしま 他	来館(体験学習) 1校 講師派遣 6校 点字資料等貸出 1校
	・全国視覚障害者情報提供施設大会	10月	熊本市	2名
	・九州視覚障害者情報提供協議会理事会	4月	福岡	1名
	・九州視覚障害者情報提供施設大会	9月	佐賀	2名
	・サピエ研修会	9月	東京	1名
	・全聴情協総会及び全聴情協施設大会	6月	大阪	1名
	・聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修	11月	兵庫	1名
	・全聴情協九州ブロック施設長会議(研修付き)	12月	宮崎	2名

2 障害者のあかるい暮らし促進事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
視覚障害者生活訓練事業	視覚障害者に対し、日常生活に必要な生活訓練指導を行った。			
	・調理実習	8月	霧島市	23名
	・太極拳体験とサウンドテーブルテニス	7月	ハートピアかごしま	17名
	・施設見学とサウンドテーブルテニス体験	11月	城西公民館	26名
	・グランドソフトボール体験	9月	鹿児島盲学校	26名
	・お茶摘み体験	12月	ハートピアかごしま	46名
	・全国盲青年研修大会	9月	佐賀県	3名
	・九州盲青年研修大会	7月	佐賀県	3名
	・全国盲女性研修大会	9月	宮城県	3名
	・九州盲女性研修大会	7月	福岡市	5名

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
中途失明者緊急生活訓練事業	疾病事故等により中途視覚障害者になった人に対し、将来の生活の方途を見出すために必要な相談・助言・指導及び社会復帰を図るための基礎的生活訓練等を行った。 ・中途失明者生活訓練 ・鹿児島ロービジョンフォーラム ・視覚障害リハビリテーション研究発表大会 ・ロービジョン学会 ・九州ロービジョンフォーラム ・iPhone等機器体験会①(iPhone初歩の初歩) ・iPhone等機器体験会②(ルーペ・拡大読書器) ・iPhone等機器体験会③(iPhone入門) ・心の健康講座 ・料理教室(JRPS) ・医療技術専門学校放射線技術学科「視覚障害者の誘導方法」	通年 6月・10月・2月 6月 8月 7月 10月 11月 11月 3月	県内各地 ハートピアかごしま 静岡 新潟 都城 ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま	コミュニケーション 19件 歩行 28件 日常 2件 その他 48件 ※重度障害者情報アクセス訓練事業と合同事業
聴覚障害者生活訓練事業	コミュニケーション手段に著しい障害を有する聴覚障害者に対し、社会生活に必要な知識等に関する講習会・研修会を行った。 ・健康調理教室 ・認知症の予防について ・認知症の予防について	6月 9月 2月	ハートピアかごしま ハートピアかごしま ハートピアかごしま	21名 17名 21名
点訳奉仕員研修事業	点訳奉仕員指導者の研修と活動中の奉仕員の技術を高めるための研修を行った。 ・点訳奉仕員フォローアップ講習 ・点訳奉仕員研修会 ・点字指導員指導員認定講習会	通年 通年 8月	ハートピアかごしま ハートピアかごしま 岐阜	10回 延べ94名 9回 延べ362名 2名
音訳奉仕員研修事業	音訳奉仕員指導者の研修と活動中の奉仕員の技術を高めるための研修を行った。 ・音訳指導員研修 ・音訳奉仕員研修 ・直接録音指導	11月 通年 通年	東京 ハートピアかごしま ハートピアかごしま	1名 10回 延べ386名 5回 延べ10名
デিজィー編集奉仕員養成事業	デジタル編集(音声デিজィー、テキストデিজィー、マルチメディアデিজィー)のできる奉仕員の養成を行った。 ・デিজィー編集奉仕員養成講習会	通年	ハートピアかごしま	10回 延べ60名
手話通訳者養成・登録試験事業	手話通訳者を養成するための講習会を開催した。 また、手話通訳者試験を行った。 ・養成講座 通訳者Ⅱ 実践課程 ・手話通訳者試験事前学習会 ・手話通訳者登録試験(手話通訳者全国統一試験)	通年 通年 5月・11月 12月	ハートピアかごしま 鹿児島市	15回 延べ185名 14回 延べ135名 2回 37名 受験者数 43名

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
手話通訳者養成指導者研修事業	手話通訳者養成指導者及び指導者を 目指す者に対し高度な知識と指導技 術の習得を図るための研修を行った。 ・手話通訳者養成指導者研修	8月・11月	ハートピアかごしま	2回 延べ48名
要約筆記者養成・ 研修事業	手話によるコミュニケーションの困難な 中途失聴者・難聴者が、意思の疎通を 円滑にして積極的な社会参加を図るた め必要な要約筆記者の養成・研修を 行った。 ・養成講習会(前期) ・筆記者等研修	通年 通年	ハートピアかごしま ハートピアかごしま	17回 延べ85名 6回 延べ68名
字幕制作ボランティ ア養成研修事業	映像に字幕を挿入する字幕制作ボラ ンティアの養成を行った。 ・字幕制作ボランティア養成講習会	通年	ハートピアかごしま	12回 延べ63名
盲ろう者通訳・介助 員養成研修事業	盲ろう者の自立と社会参加の促進を 図るため必要な盲ろう者通訳介助員の 養成・研修を行った。 ・盲ろう者通訳・介助員養成講習会 (初級・中級) ・盲ろう者通訳・介助員現任研修会	6月～9月 2月・3月	鹿屋市 鹿屋市・知名町	13回 延べ88名 2回 14名

3 盲ろう者通訳・介助員派遣事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
盲ろう者通訳・介助 員派遣事業	視覚機能と聴覚機能に障害を併せ持 つ盲ろう者のコミュニケーション及び移 動等の支援を行い自立と社会参加の促 進を図るため、登録盲ろう者通訳・介助 員の派遣を行った。 ・盲ろう者通訳・介助員の派遣	通年	県内外	・派遣件数 200件 ・活動時間 697時間

4 広域派遣事業(手話通訳・要約筆記)

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
広域派遣事業(手 話通訳・要約筆記)	複数市町村の住民が参加する障害者 団体等の会議等、市町村での対応が困 難な派遣等に手話通訳者・要約筆記者 を派遣する。 ・手話通訳者の派遣 ・要約筆記者の派遣	通年 通年	県内外 県内外	・派遣件数 8件 ・活動時間 83時間55分 ・派遣件数 17件 ・活動時間 171時間40分

5 重度障害者情報アクセス訓練事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
重度障害者情報アクセス訓練事業	視覚障害者にパソコン等の情報機器・生活用具等の紹介をするとともに、それらの機器の利用ができるように指導した。 - iPhone等機器体験会①(iPhone初歩の初歩) - iPhone等機器体験会②(ルーペ・拡大読書器) - iPhone等機器体験会③(iPhone入門) - 機器展 - パソコンサポート	10月 12月 通年	ハートピアかごしま 鹿屋市 鹿児島市・鹿屋市 霧島市・日置市	20名 9名 21名 ※中途失明者緊急生活訓練事業と合同事業 10回

6 手話通訳者等・要約筆記奉仕員派遣及び健康診断実施事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
手話通訳者等・要約筆記等派遣及び健康診断実施事業	市町村や団体からの委託を受けて、登録手話通訳者や要約筆記者等の派遣コーディネートを行った。また、年々増加している手話通訳者等の職業病ともいえる頸肩腕障害の早期発見のため、健康診断を実施した。 - 登録手話通訳者等の派遣コーディネート - 登録要約筆記者等の派遣コーディネート - コミュニケーション支援事業担当者研修会 - 手話通訳者及び要約筆記者等頸肩腕健康診断	通年 通年 7月 2月	県内各地 県内各地 京都 鹿児島市	地域支援事業委託契約 13市6町 個人 件数 458件 派遣人数 472名 団体 件数 一般 151件 身障 85件 派遣人数 409名 (登録通訳者等数 103名) (平成29年3月31日現在) 地域支援事業委託契約 13市6町 個人 件数 10件 派遣人数 13名 団体 件数 一般 12件 身障 20件 派遣人数 89名 (登録筆記者等数 35名) (平成29年3月31日現在) 1名 7名

7 同行援護従業者養成研修事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
同行援護従業者養成研修事業	視覚障害者の移動支援及び外出先での情報提供、代筆・代読を行う同行援護従業者を養成した。	1月～2月	奄美市	参加者 14名

8 技術活用事業

事業名	事業概要	実施期間等	場所	備考
技術活用事業	視聴覚障害者情報センターの点訳・音訳、字幕入りDVD制作などの技術を活用した。 ・県政かわら版 (6回) ・県議会だより (2回) ・かんぎ (2回) ・ありば (2回) ・後期高齢パンフレット (1回) ・CS放送番組制作 地方の手話 つつうちうら	3月 4月 6月		

附屬明細書

【本部会計】

事業名	平成28年度全国障害者スポーツ大会派遣事業	
事業の目的	第16回全国障害者スポーツ大会に鹿児島県選手団を安全・確実に派遣するための派遣計画策定、選手及び大会実行委員会・その他関係機関との連絡調整、選手団へのユニフォームの支給、輸送手段の確保、諸経費の支払いを行うとともに、合同練習会を実施して、派遣選手の技術力向上とレベルアップを図ることを目的とする。	
事業の実績	○鹿児島県選手団合同練習 第16回全国障害者スポーツ大会鹿児島県選手団の合同練習を行った。	
	期日と参加人数	7月16日(土) 個人競技 102名(選手38、役員・補助員42、付添22)
	場 所	ハートピアかごしま、T-MAXボウル
	内 容	ミーティング、メディカルチェック、ユニフォーム採寸、種目別練習
	○ユニフォーム作製 第16回全国障害者スポーツ大会に鹿児島県選手団(個人競技選手35名分、個人競技役員12名分)のユニフォームを作製し支給した。	
	支給アイテム	ウインドブレーカー上下、帽子、ランニングシャツ(陸上競技選手)、卓球シャツ(卓球選手)、水泳キャップ(水泳選手)、ポロシャツ(フライングディスク、ボウリング)
	○全国障害者スポーツ大会派遣 第16回全国障害者スポーツ大会に鹿児島県選手団(個人競技選手39名、個人競技役員32名)を派遣した。	
	派遣大会名	第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」
	派遣日程	平成28年10月20日(木)～10月25日(火) 大会は10月22日(土)～10月24日(月)
	派遣先	岩手県(北上市、盛岡市、奥州市、岩手郡雫石町)
その他	県選手団の結果	金メダル27個、銀メダル15個、銅メダル9個(計51個)を獲得。 陸上競技・水泳で大会新記録3を樹立した。
	内 容	○全国障害者スポーツ大会アンケート 派遣終了後、鹿児島県選手団選手・役員に対し、アンケートを実施した。 今後の派遣事業に役立てるため、合同練習、大会に向けたトレーニング、開催地までの移動、競技等について選手・役員を対象にアンケートをとり、集計した。

平成28年度鹿児島県障害者自立交流センター運営協議会について

- 1 開催日時 平成28年9月23日(金) 午後1時半～2時30分
- 2 場 所 ハートピアかごしま 1階 多目的ホール
- 3 出席者

(委員)

鹿児島県障害福祉課長 (代理 主幹兼地域生活支援係長)
 鹿児島県特別支援学校長 鹿児島大学教育学部附属特別支援学校副校長
 鹿児島県障害者自立交流センタースポーツボランティア協議会長
 鹿児島県身体障害者協会連合会会長
 鹿児島県視覚障害者団体連合会会長 (代理 事務局代長)
 鹿児島県聴覚障害者協会会長
 鹿児島県手をつなぐ育成会社会参加推進委員
 かごしま精神医療福祉ユーザーネット協議会会長
 鹿児島県障害者スポーツ協会事務局長

(指定管理者)

社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 会長
 同 障害者自立交流センター センター長
 同 同 交流課長ほか職員3名

4 報告事項

- (1) 平成27年度障害者自立交流センター利用実績・事業実績・利用料金について
 平成27年度の自立交流センターの利用状況, 事業実績, 利用料金等について,
 資料に基づき説明した。
- (2) 平成28年度障害者自立交流センター事業進捗状況について
 平成28年度の自立交流センターの事業の進捗状況について, 資料に基づき
 説明した。
- (3) 障害者自立交流センター 「センターに関するアンケート調査」結果について
 自立交流センターで利用者に対して実施しているアンケートの結果について,
 資料に基づき説明した。

5 協議事項

- (1) センター管理運営上の諸問題について

自立交流センターの管理全般, 安全対策, 各施設(プール, トレーニング室,
 体育館, 総合受付, 多目的ホール, 研修室・和室)の利用上の問題点, 職員の勤
 務態勢, 視察・職場体験・教師研修等の受入状況等について, 現状及び対応状況
 を説明した。

6 主な意見等

- (1) 交流センターで養成・活動しているボランティアは、現在どの位の人数か、また、自立交流センター以外の団体等が開催する障害者のスポーツ大会等での活動はやらないのか。

→ ボランティアは毎年120名前後登録しており、その内、50名程度が活動している状況である。

→ 当センターで養成・活動しているボランティアは、原則として当センターが実施する各種のスポーツ大会、文化活動に携わっていただくために、お願いしているのが現状である。

- (2) アンケートで届いた意見の中には、交流センターでの対応・解決は困難ではと思えるものもあるが、どのような対応をしているか。

→ 自立交流センターは、県から指定管理者として指定を受け管理運営を行っているが、当センターの指定管理の枠外の意見については、関係の部署と連絡を取り対応をお願いしている。

また、障害者の方々の自立交流を促進するための施設として管理運営している中で、ご利用にいただいている健常者の方々のご意見についても可能な限り対応している。

平成28年度鹿児島県視聴覚障害者情報センター運営協議会について

- 1 開催日時 平成29年1月26日(木) 午後1時半～3時
- 2 場所 ハートピアかごしま 1階 会議室
- 3 出席者

(委員)

鹿児島県障害福祉課長 (代理 主幹兼地域生活支援係長)

鹿児島県立図書館 館長 (代理 副館長)

鹿児島県立鹿児島盲学校 校長

鹿児島県点訳・音訳友之会 会長

鹿児島県視覚障害者団体連合会 会長

(指定管理者)

社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 会長

同 常務理事・事務局長

視聴覚障害者情報センター センター長ほか職員4名

※運営協議会は毎年度、視覚・聴覚に分けて実施してきており、平成28年度は、視覚障害者関係等の委員に出席いただき開催した。

4 協議事項

(1) 事業の実施状況等について

視聴覚障害者情報センターが行っている、点字図書や録音図書の製作、蔵書数、図書の貸出、広報、点訳者や音訳者の養成など視覚障害者への情報提供に関する各種の事業、現状等について資料に基づき説明した。

(2) 主な意見等

① 県立図書館でも点字図書や拡大機器を備えており、たくさんの利用を呼びかけているが、品数が少ない状況なのでなかなか難しい。今日の資料を見て、情報センターでたくさんの事業が開催されていることを認識した。公共図書館協会もあるので、県立図書館を通じて他の市町村図書館とも連携は可能かと思う。

② 盲学校にも図書館があって蔵書も色々あるので、お互いに相互利用できればと思う。

学校では、県内全域を対象として巡回相談というのを行っており、できる限り相談に行っている。先日も鹿児島市外の小学校から、見えにくさを感じている児童がいるのでぜひ来てほしいと依頼があった。そのような、見えにくさを言うに言えない、または見えにくさ

に気づいていない方もかなりいるのではないかと。巡回相談も定着してきたので、これからも進めていきたい。

- ③ 音訳は朗読ではなく、なかなか難しい。アナウンサーが音訳をできるかというところという訳ではない。必要なときに、すぐできるかというところが難しく、1冊の本を読むのに時間がかかるし、読んだ後は校正する人がおり、間違った部分はまた訂正する。様々なやり取りをして、やっと1冊が出来上がる。
- ④ 南日本新聞の南風録や天声人語、若い目などを2週間分まとめて1本に編集したものを発行しているが、それも利用者に喜んで頂けているのではないかと思っている。サピエ図書館では、全国の図書館からインターネットで借りることができるので、鹿児島県の利用者だけでなく、全国の方が聞くということなので、レベルを上げることを目指している。
- ⑤ 視覚連は県内の視覚障害者で構成されているが、手帳所持者数から見れば、かなり登録率が低い。原因としては、視覚連のことを知らない人も多いと考えられる。会員外への情報提供も、盲学校や情報センターと協力してやっていけたらと思う。